

# 年頭のあいさつ



雲南広域連合長  
公立雲南総合病院組合管理者  
雲南消防組合管理者

速水 雄一

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。皆様には清しく新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

雲南地域広域三団体の運営に對しまして、地域の皆様のご理解ご協力を賜っておりますことに厚くお礼を申し上げます。

まず始めに雲南広域連合における広域的な地域振興事業でございます。広域連合では、雲南地域の情報発信や観光客誘致事業、そして地域を担うべき人材の育成事業を積極的に展開していきます。

農山村地域の空洞化が著しく加速する中で、自治体の広域連携は今後ますます重要性を増してきます。

これまでの雲南地域における広域行政の蓄積を生かし「有機的な連携」を更に深め、雲南地域の一体的な地域振興の先導的役割を担って参ります。

次に、介護保険事業でございます。高齢化の進行と制度の定着により年々サービスの利用が増えるとともに、サービス基盤の整備を進めているところであります。

より地域の介護ニーズに対応できる地域密着型サービスも積極的に導入を図っているとあります。その理念とする「可能な限り住み慣れた地域で老いる」これが享受できるサービス環境の整備に更に努めて参ります。

国、地方とも極めて厳しい財政状況の中で、二層簡素で効率的な行財政運営が求められており、さらなる広域行政のメリットを生かした運営を目指します。

公立雲南総合病院につきましては、依然として続く医師不足に加え経済情勢の悪化も影響し患者数は減少傾向にあり、経営は依然厳しい状況にあります。市立病院移行にあたり、今年四月からは松井譲医師が病院長に就任し新体制による運営が始まることになっており、地域医療を守るため一致団結してがんばりますので地域の皆様にも温かいご支援をお願いします。

今年度「地域医療人育成センター」を設置し医療実習生や研修医の受け入れ、二十四時間対応の院内保育所の開設により育児中の看護師確保実現、住民の皆さんの協力による病院ボランティアの立ち上げなど一定の成果を上げつつあります。

昨年は新型インフルエンザの流行にともない、予約受付や予防接種など煩雑を極めておりますが、医師会の協力により休日診療輪番制が構築され、病院内で診察いただき地域の安心に大きく貢献していただいたことに、心から感謝申し上げます。

今後、市立病院への移行が進む中「住民に、開業医に、医療スタッフに選ばれる病院」として、地域医療を守るといふ強い信念のもと関係機関の協力をいただき鋭意努力して参ります。

雲南消防組合につきましては、全国的に災害が複雑多様化してきていると言われるなか、昨年は明確な梅雨明け宣言がなされないほどの異常気象となり、七月に山口県、八月には岡山県と兵庫県において、それぞれ集中豪雨により大きな被害が発生しま

した。

集中豪雨災害のみならず、地震や台風等の自然災害の被災地を見たとき、地域や住民の安心・安全を守る難しさを痛感するとともに、防災体制の強化に向け更に取り組んでいかなければならないと考えています。

昨春から感染拡大した新型インフルエンザは、今後の予測がつかない中で、消防機関として業務に支障が出ないよう対応をしているところですが、是非とも収束に向かつてほしいと願うところです。

また、来年の五月までが設置期限である住宅用火災警報器や、自動体外式除細動器（AED）の普及啓発等、災害から身を守るためには、地域の皆さんの心と心のつながりによる「自助」・「共助」に結びつくような消防業務を推進していくことが重要であると考えています。

今後とも、雲南地域の広域行政を担う雲南広域連合、一部事務組合である公立雲南総合病院組合、雲南消防組合に對し、いっそうのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。まして、年頭のごあいさつといたします。

## 新春のご挨拶



雲南広域連合議会  
議長 堀江 眞

新年明けましておめでとございます。皆様には希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、雲南広域連合の運営にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今後とも雲南地域の振興と発展のため、住民の皆様の声を十分に反映できるよう議会運営に努めて参りたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

さて、昨年度は、これまでにない事例が次々と起こった年でした。日本におきましては、長く続いた自民党政権から民主党政権へと交代しました。また、アメリカ合衆国におきましては、「変革（チェンジ）」を掲げて、バラク・オバマ大統領が誕生しました。

いずれもこれまでの既成概念を打ち破るような大変な出来事であり、時代の激動を感じています。

雲南広域連合議会におきまして、これまでの慣習や概念にとらわれずに最善の策を模索し、より良い介護保険の運営や広域的な地域振興に努めて参りたいと思っております。

雲南地域の発展と皆様のご多幸ご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 雲南広域連合議会構成表

役職名	氏名	市町名	
議長	堀江 眞	雲南市	
副議長	那須 穂士輝	飯南町	
総務常任委員会 (6名)	委員長	加藤 欽也	雲南市
	副委員長	瀧 尻 行雄	飯南町
	委員	周 藤 強	雲南市
	委員	吉 井 博	雲南市
	委員	千原 祥道	奥出雲町
厚生常任委員会 (6名)	委員長	福本 修	奥出雲町
	副委員長	吾郷 益己	奥出雲町
	委員	安井 誉	雲南市
	委員	光谷 由紀子	雲南市
	委員	堀江 眞	雲南市
議会運営委員会 (6名)	委員	難波 俊司	飯南町
	委員	那須 穂士輝	飯南町
	委員	吾郷 益己	奥出雲町
	委員	加藤 欽也	雲南市
	委員	安井 誉	雲南市
監査委員(議会選出)	千原 祥道	奥出雲町	
	那須 穂士輝	飯南町	
	福本 修	奥出雲町	

# 「雲南地域観光未来塾」

～映画「うん、何？」をヒントに魅力再発見！～

を実施しました

雲南地域観光未来塾では、映画「うん、何？」をヒントに、改めて自分たちの住んでいる地域の魅力を見つめなおし、雲南地域らしい魅力発信について一緒に考えてみようということで、3回シリーズの地域づくり研修を開催しました。

映画「うん、何？」の現地プロデューサーであり、雲南市の観光推進員として活動されている宇都宮睦登さんを今回の講師に、映画撮影の裏話や、雲南地域の魅力について話をいただきました。



第2回ロケ地視察 壺神(八口神社)

参加者からは、雲南市だけでなく奥出雲町や飯南町でも上映して欲しい。といった意見や、映画を通し、雲南の魅力とは？という事を考える良い機会になった。という意見がありました。

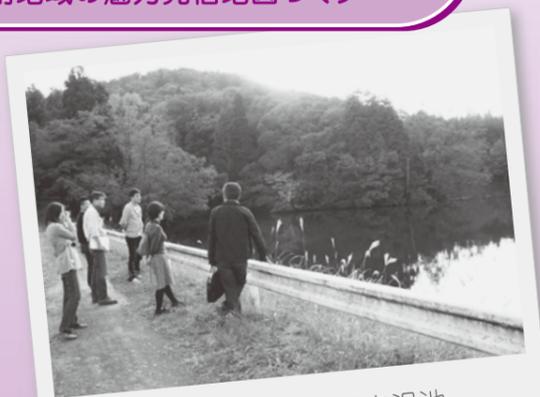


第2回ロケ地視察 菅谷たたら

- 第1回(11月1日) 映画「うん、何？」鑑賞及び現地プロデューサーとの意見交換会
- 第2回(11月7日) 映画「うん、何？」ロケ地視察
- 第3回(12月5日) 雲南地域の魅力発信地図づくり



第2回ロケ地視察 佐世神社 大木



第2回ロケ地視察 山王寺沢池

# 雲南広域連合 議会報告

## 平成21年第2回 雲南広域連合議会臨時会

平成21年11月26日、平成21年第2回雲南広域連合議会臨時会を開催しました。今回の議会には次の議案を提出し、原案通り可決されました。

### 議決された事項

#### ○ 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

人事院及び島根県人事委員会勧告に基づき、職員の給与条例を改正しました。



## 平成21年12月 雲南広域連合議会定例会

平成21年12月25日、平成21年12月雲南広域連合議会定例会を開催しました。今回の議会には次の議案を提出し、原案通り可決されました。

### 議決された事項

#### ○ 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正を行いました。

#### ○ 平成21年度雲南広域連合一般会計補正予算(第3号)

派遣職員人件費の減額に伴い、歳入歳出それぞれ271千円を減額し、予算総額を66,841千円としました。

#### ○ 平成21年度雲南広域連合介護保険特別会計補正予算(第3号)

広域連合職員人件費、派遣職員人件費の減額に伴い、歳入歳出それぞれ1,277千円を減額し、予算総額を6,974,490千円としました。

